

建設産業で働く同じ仲間なのに、知るよすがで知らない女性技能者の実情。「彼女たちにとっても働きやすい環境とは？」「長く働き続けるために必要なことは？」。土木技術者女性の会（南朋恵会長）と女性技能者協会（前中由希恵代表理事）との共催により、『女性技能

者×女性技術者クロストーク』（オンライン）がこのほど開かれた。両会から技能者や技術者ら10人が参加。土木技術者女性の会サポーターである私も、参加者という貴重な機会をいただいた。（安食剛）

続け、「建設現場の殻を破りたい」と立ち上がった。「行動力に心が動かされた」と、応援の輪は大きく広がり、クラウドファンディングは成功。2021年に女性技能者協会を設立する。



女性技能者協会HPのQRコード

どこのトイレに行くかも男女別々にあるのに何で建設業だけ女性用トイレがないの！

「いつ来るか分からない女性のために設置などできない」「3次下請けの立場で言えない」「監督員は事務所のトイレを使うので現場のトイレに関心が低い」「高層ビル現場では男性はスカイトイレ

を使う。女性技能者は下でモルタル練りをし、設備面の不備が仕事を選ばせている」「男女兼用が多いので絶対に使わない。近くのコンビニに行く」。

ある現場に快適トイレがあって、めちゃくちゃテンションが上がったという女性技能者協会の前中代表理事。同会の会員には多くの一人親方がいる。

らフルタイムを希望され時短勤務が叶わない。前中氏は高校生のころアルバイトをきっかけに電気工事士の道へ。「女性にできるわけがない」と言われた

が20年近く食らいついてきた。彼女自身もかつて一人親方だった。昔の自分のように、社

いわゆる土木女子（ドボジョ）系団体は数多く誕生しているが、土木技術者女性の会は国内初の創設団

弱の立ち上げから、今では幅広い年代の500人規模で構成する。技能者、技術者が共に働きやすい建設産業を目指そう。発注者や元・下請けが取り組むべき課題について自由な意見が交わされた。「現場で一緒に話さないよね」「忙しそうだから仕事の邪魔をしてもいけないし」「ねえ、これからはできるだけ声かけしようよ」。あえて「伸ばし棒」を1本多く入れた『クロストーク』が交わり始めた。

技能者×技術者

解説

クロストーク開催